学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	**インクルーシブ 教育**	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

舞鶴市

事業名	**特別支援教育支援員設置事業**

事業の経過・背景・課題

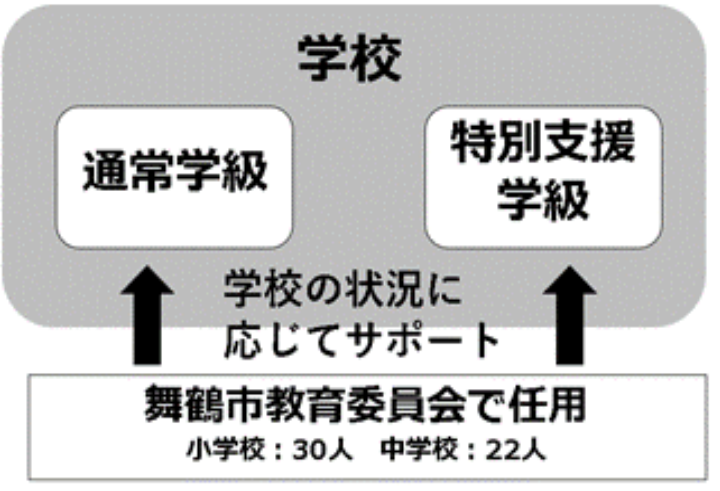
学校生活の中で、児童生徒一人ひとりが安心して活躍できる教育活動を進めていくためには、個に応じた支援を行うことが重要となるが、個別の支援を必要とする児童生徒は年々増加傾向にあり、また、教育相談等で「特別支援学級適」や「特別支援学校適」と診断を受けた児童生徒が通常学級を希望されることも多くなってきている。教員だけではきめ細やかな指導が不足してしまう現状があるため、児童生徒一人ひとりが安心して教育を受ける環境を整える必要がある。

取組内容

交付実績額：　10,650　千円

・通常学級や特別支援学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対し、適切な対応を行うため、市独自施策として小・中学校に特別支援教育支援員を配置

・特別支援教育支援員の指導記録や日々の気づきにより、担任だけでは捉えることのできない児童生徒の思いや変化、行動の特徴等を多くの教師が共通理解することができるとともに、指導の方向性を確かなものとする。



事業の成果・今後の展望等

特別支援教育支援員の配置は、個別の支援を必要とする児童生徒にとって、精神的な安定につながり、安心安全な学校生活を送ることができる。また、安定した学校生活のもと、個別に学習支援を行うことにより、学習に対する意欲の向上や自信につながっている。

【支援員配置による効果】

〇児童生徒のパニックを回避することができている。

〇一斉授業の中での学習支援や取り出し指導を行うことができるため、児童生徒の学習に対する困りや抵抗感を軽減し、学習意欲の向上と基礎学力の定着につながっている。　等

問い合わせ先	舞鶴市教育委員会学校教育課（0773-66-1072）

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	**インクルーシブ 教育**	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

舞鶴市

事業名

特別支援教育スーパーバイザー設置事業

事業の経過・背景・課題

発達障害やその傾向が認められる児童生徒が不登校となる背景には、周囲の人の配慮や適切な支援環境が整っておらず、学校の勉強についていけない、周囲の生徒や教員とのコミュニケーションがうまくとれない、学校生活が楽しくない、といったことから発達障害の二次障害的に発生する場合がある。児童生徒一人一人の特性を理解し、教育的なニーズに応じた適切な支援を行うことが、不登校の未然防止と早期解決に有効である。

取組内容

交付実績額：　　－　　千円　セット新規（※）

（※）本交付金を活用することで生じる余剰財源の1/2程度の額により教育環境の充実に資する事業を新たに実施・拡充

・特別支援教育専門家の上位資格である「特別支援教育士スーパーバイザー（SV）」を設置し、教育支援センターや学校訪問により、児童生徒のアセスメント（発達障害の有無の判断、具体的な支援の検討等）や個別の支援計画の作成・実施に関する指導助言

・教職員（初任者）やコーディネーター等を対象とした研修会等を年5回（5・6・11月）実施

事業の成果・今後の展望等

特別支援教育スーパーバイザーからの指導助言や教職員への研修などにより、児童生徒へのきめ細かな個別指導や適切な支援を実現するとともに、児童生徒や保護者への臨床心理士のカウンセリングと併せた支援を行うことで、不登校児童生徒への対応を強化することができた。

特別支援教育スーパーバイザーによる学校訪問等のニーズは高いものの、対応ができない場合がある。今後は、全ての学校で活用が可能となるよう、スーパーバイザーの活用時間数を増やすなど、在り方を検討していく。

問い合わせ先　舞鶴市教育委員会学校教育課（0773-66-1072）

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	**食育の推進**
学校・家庭・ 地域連携	その他	

舞鶴市

事業名

栄養管理システム導入事業

事業の経過・背景・課題

給食管理については、小学校　18校（自校調理方式）においては、各校に配属する栄養教職員が、中学校7校（スクールランチ方式）においては、市教委の栄養教諭がそれぞれ行い、業者へ指示を行っているところ。献立研究による献立の充実やアレルギー食の確実な除去対応など、より安心安全で充実した学校給食を実施する必要がある。また、給食を管理・運営するために必要な帳票については、市独自のワードやエクセルを基本に各学校の栄養教職員が作成・管理しているが、書類作成のための入力・転記作業やチェックがアナログであり、膨大な手間がかかっている。

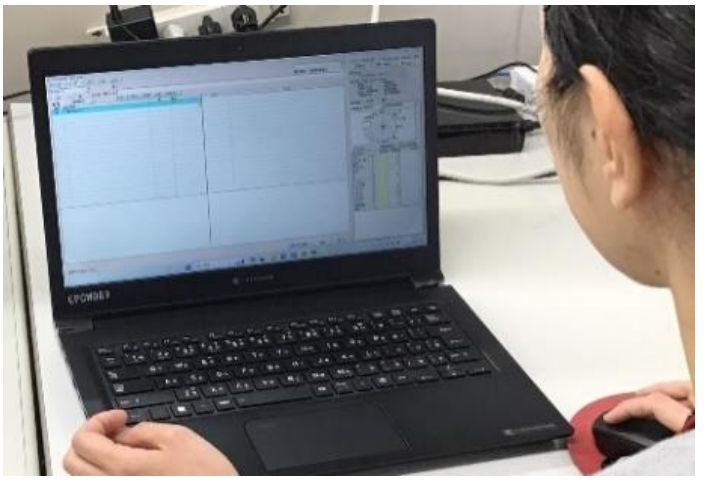
取組内容

交付実績額：　　－　　千円　セット新規（※）

（※）本交付金を活用することで生じる余剰財源の1/2程度の額により教育環境の充実に資する事業を新たに実施・拡充

・学校給食にかかる献立や栄養価計算、アレルギー対応等を効率的に管理・運営するための栄養管理システムを導入

◇栄養管理システムの操作画面
　データをクラウド管理にすることで、各学校で迅速に情報共有する



事業の成果・今後の展望等

栄養管理システムを導入することで、献立研究による献立の充実や、アレルギー食の確実な除去対応など、より安心安全で充実した学校給食の運営等を行うことができた。

今後は、さらに栄養管理システムを活用することにより、学校給食をとおして子どもたちに正しい食習慣や食に関する知識を身に付けさせるとともに、業務を効率化し、職員の働き方改革を実現する。

問い合わせ先　舞鶴市教育委員会学校教育課（0773-66-1072）

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	**その他**	

舞鶴市

事業名

校務支援システム出退勤管理機能追加業務

事業の経過・背景・課題

各校における職員の勤怠管理については、紙文書で管理している部分が多く、文書作成・管理・集計に手間を要している。一部書類の作成等については、パソコンにフリーソフトをインストールし、スタンドアロン（※）運用しているものもあるが、経年による機器やシステムの不良等将来的な運用が危惧される状況。

教職員の負担軽減に取り組むことで、子どもと向き合う時間を確保する必要がある。

（※） 1 台のコンピュータやソフトウェアが他のシステムやデバイスと独立して機能する状態

取組内容

交付実績額：　　－　　千円　セット新規（※）

（※）本交付金を活用することで生じる余剰財源の1/2程度の額により教育環境の充実に資する事業を新たに実施・拡充

・全校共通で利用している校務支援システムのオプション機能である勤怠管理機能を導入
・勤怠管理機能により、従来の労務管理業務の執行をクラウドサービスに移行
◇タッチ操作で簡単に出退勤が行える→

事業の成果・今後の展望等

勤怠管理機能により、勤怠・労務をクラウドで一元して管理し、集計等の業務の効率化・ペーパーレス化を促すとともに、教職員の勤務時間が可視化されることで、適正な労務管理、教職員の負担軽減につながった。また、GIGAスクール構想にて整備した既存のシステムを基盤に導入・管理することで、スムーズな移行、システムの高い可用性や保全性が確保できた。

時間外勤務の管理等をより優れた環境で行うことができるようになったものの、一部業務（出勤簿、出張管理等）においては、まだ紙ベースでの管理体制となっているため、次年度以降、システムの機能をさらに精査し、データ管理できる業務を増やしていきたい。

教職員の労働環境の改善といったさらなる働き方改革を推進することで、教職員の負担軽減・心理的余裕を確保し、前向きな気持ちを持って子どもたちと向き合える環境づくりに取り組む。

問い合わせ先　舞鶴市教育委員会学校教育課（0773-66-1072）